



但馬（円山川等） 地域総合治水推進計画の改定概要

第6回但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会
令和7年2月13日

I 地域総合治水推進計画改定のポイント

1 当初策定から概ね10年となるため、次期計画へ移行

- 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の策定（H26年度策定）から概ね10年が経過するため、河川下水道対策、流域対策、減災対策についての**取組実績や課題**を踏まえ、次期計画を策定する。
- よりわかりやすい計画とするため、**本編と資料編の2部構成**とする。

2 地域総合治水推進計画に記載しているデータ等の時点修正

- 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画における「計画地域の概要」、「現状と課題」等の記載内容について、統計データ等の時点修正や表現の適正化を図る。

3 社会情勢の変化、法令の改正等による変更

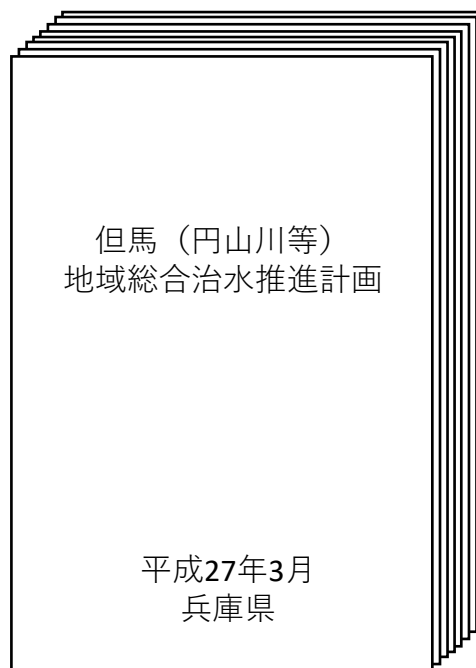
- 気候変動を踏まえた治水対策の必要性を盛り込む。
- 国の流域治水の取組、特定都市河川浸水被害対策法の改正等、**最新の社会情勢を踏まえた更新**を図る。

II 地域総合治水推進計画の構成

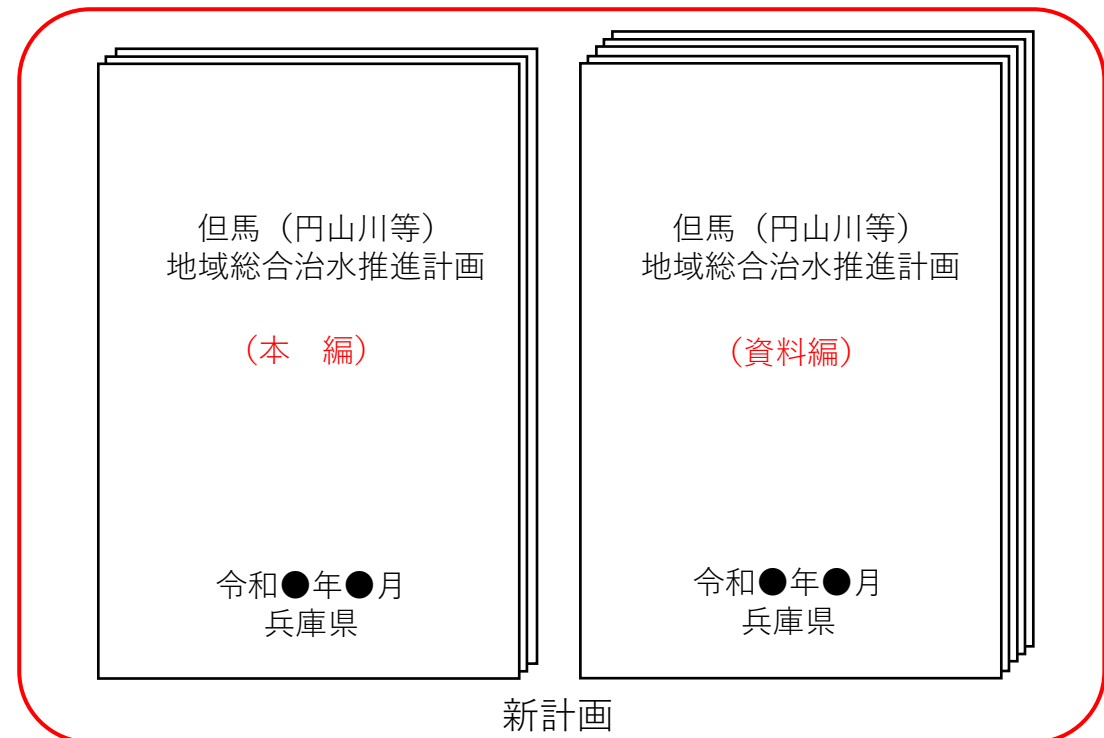
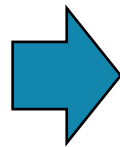
■わかりやすい計画とするため、計画の本編と資料編の2部構成とする。

(現計画の課題)

- 現計画は、地形、気象、歴史文化などに加え、既往計画の転記など記載内容が多く（155ページ）、わかりやすい計画とする必要がある。
- 計画改定のたびに過去の実績を上書きすると、実績が削除されてしまう。（特に流域対策は実績の蓄積が重要）



現計画



II 地域総合治水推進計画の構成

- 本編は、総合治水条例で定められた事項とし今後概ね10年間の総合治水の取組をまとめる。
- 資料編は、地形、気象、歴史・文化のほか、河川整備計画等の既往計画の概要、取組実績を現計画を基にしてとりまとめる。また、他地域の主たる取組の効果について整理する。

<本編 目次>	<資料編 目次>
1 計画区域の概要 2 総合治水の基本的な目標に関する事項 3 総合治水の推進に関する基本的な方針 4 河川・下水道対策 5 流域対策 6 減災対策 7 環境の保全と創造への配慮 8 総合治水を推進するにあたって必要な事項	1 <u>計画区域の概要</u> <u>(地形・地質、気候、自然環境、歴史・文化、土地利用、人口分布)</u> 2 <u>洪水被害の発生状況</u> 3 <u>これまでの取組</u> <u>(河川・下水道対策、流域対策、減災対策)</u> 4 <u>河川環境の保全と創造への配慮</u> 5 <u>地域総合治水推進計画の改定履歴</u> 6 他地域での総合治水対策の効果事例※1

下線：資料編に移行する内容

※1：新たに追加する内容

Ⅲ 計画改定の主な内容

1. 計画区域の概要

<本編> (P 1～3)	<資料編> (P 1～8)
○但馬地域を流下する主な河川、地形等を記載 ○総合治水を推進していく上での課題を記載 ・気候変動を踏まえた総合治水対策 ・<u>河川対策における河川整備計画に基づく整備と、河川管理施設等、河道内の計画的な維持管理</u> ・<u>下水道対策における既存下水道施設の抜本的な更新の必要性</u> ・<u>流域対策における間伐がなされないことによる森林の保水能力の低下や、水田の荒廃・市街化の進行による保水能力の低下</u> ・<u>減災対策における被災経験者の減少、高齢化による防災意識の低下の懸念と、防災情報の広い周知と情報提供方法の多様化・改善</u> ・その他現状を踏まえた記載内容に修正	○計画区域の概要 ①地形・地質、②気候、③自然環境、④歴史・文化、⑤土地利用、⑥人口分布 ○大雨による洪水被害の発生状況 ○これまでの総合治水の取組

Ⅲ 計画改定の主な内容

2. 総合治水の基本的な目標（本編P4）

（1）計画期間

○計画の期間は概ね10年間とする。

（2）ながす(河川・下水道対策)、ためる(流域対策)、そなえる(減災対策)の目標

○ながす：河川整備計画、下水道計画等の既定計画の着実な推進

○ためる：雨水の貯留・浸透させる取組の推進、継続した対策の推進

○そなえる：情報発信・伝達・把握、避難、建物の耐水機能の付加、被災時の早期生活再建の取組等を推進し、人命・社会経済活動への深刻な被害の回避・軽減

Ⅲ 計画改定の主な内容

3. 総合治水の推進に関する基本的な方針（本編P5～6）

（1）全般

- 国、県及び市町は各主体と連携を図りながら、これまで進めてきた河川下水道対策や流域対策、減災対策を継続する。県民は、自ら流域対策や減災対策に取り組むように努め、総合治水に関する施策に協力する。
- 浸水被害の発生や法改正、気候変動への対応等を踏まえた新たな取組について各主体が連携・協力し、取組を推進する。

（2）河川・下水道対策

- 国、県及び市町は、河川整備計画等に基づき河川整備を行うとともに、河川整備による治水効果を維持するため、老朽化対策や堆積土砂の撤去等の適切な維持管理を行う。
- 市町は、下水道計画に基づき施設整備を行うとともに、施設の老朽化対策を行う。

（3）流域対策

- 流域対策の貯留量のさらなる増加のため、流域全体での取組に努める。

（4）減災対策

- あらゆる世代に対して、防災に関する教育、訓練の継続実施に努めるとともに、防災のリアルタイム情報の充実や情報発信方法の多様化に努める。

Ⅲ 計画改定の主な内容

4. 河川・下水道対策（本編P 7～14）

（1）河川の整備及び維持

- 一級河川円山川水系 円山川上流圏域河川整備計画、円山川水系出石川圏域河川整備計画、円山川下流圏域河川整備計画、およびひょうごインフラ整備プログラム等に基づく流下能力向上対策
- 適切な維持管理
 - ・ 堆積土砂撤去
 - ・ 矢板護岸老朽化対策：（二）田井川（新温泉町）等2箇所
 - ・ 排水機場、水門機械整備、電気設備等老朽化対策：（一）六方川（豊岡市）等4箇所
- 大路ダム、与布土ダム、但東ダムの洪水調節

（2）下水道の整備及び維持

- 各市町の下水道計画に基づく整備
- 適切な維持管理

Ⅲ 計画改定の主な内容

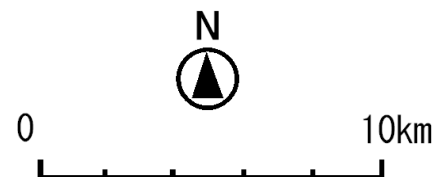
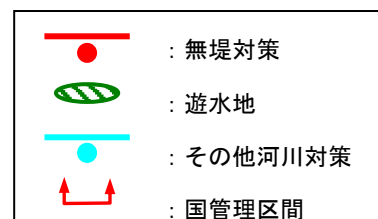
河道対策の整備内容一覧

河川名	事業区間	事業概要	事業主体
(一) 円山川	豊岡市【瀬戸・津居山地区】	下流部無堤対策L=1.0km	国
	豊岡市【ひの其他地区】	下流部無堤対策L=0.4km	
	豊岡市【中郷地区】	遊水地整備	
	豊岡市【鶴岡・日置地区】	上流部無堤対策L=1.1km	
	豊岡市【日高地区】	上流部無堤対策L=0.1km	
	養父市～朝来市[米地橋上流～神子畑川合流点]	築堤、護岸、井堰改築等 L=9.4km	
(一) 八代川 新規	朝来市【八代地区】	パラペットL=120m	県
(一) 八木川 新規	養父市【尾崎地区】	パラペットL=200m	
(二) 香住谷川	香美町[河口～森谷川合流点付近]	河床掘削、護岸等 L=1.1km	
(二) 矢田川	香美町[河口～長谷野橋上流]	河道拡幅、築堤、護岸等	
(二) 美の谷川 新規	香美町【香住区油良・間室地区】	緊急対策	

維持管理内容一覧

河川名	事業区間	事業概要	事業主体
大路ダム	朝来市和田山町	ダム管理用制御処理設備等更新	県
与布土ダム	朝来市山東町		
但東ダム	豊岡市但東町		
六方川等	管内	排水機場、水門機械整備、電気設備等老朽化対策	
田井川等	管内	矢板護岸老朽化対策	

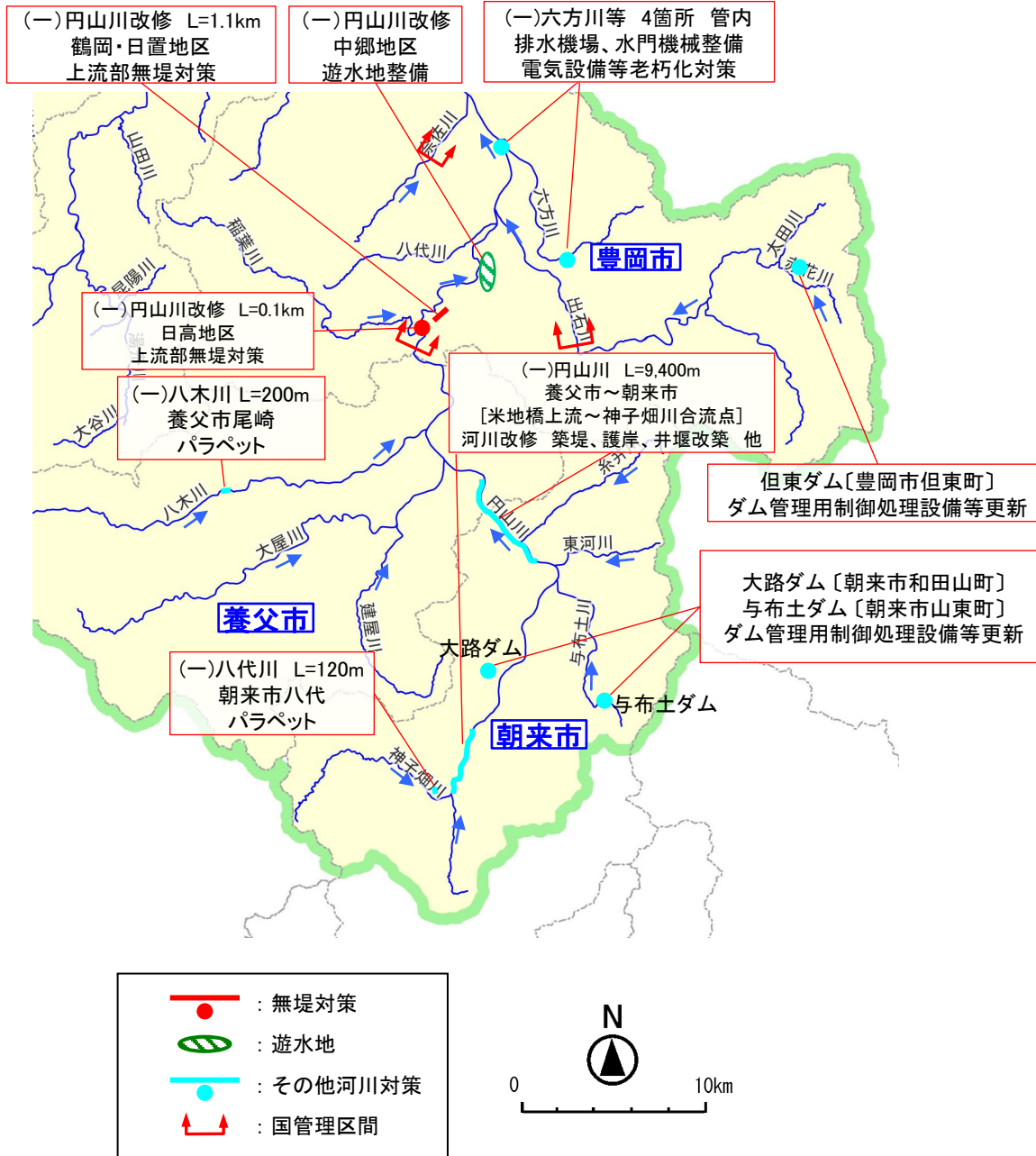
Ⅲ 計画改定の主な内容



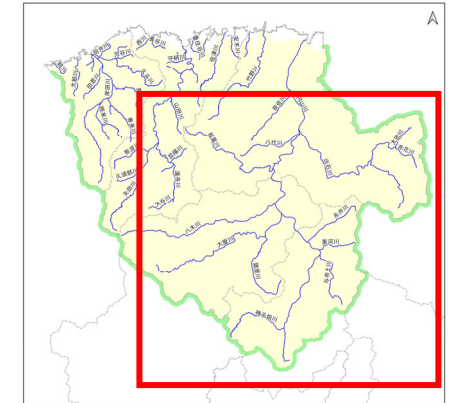
全体図



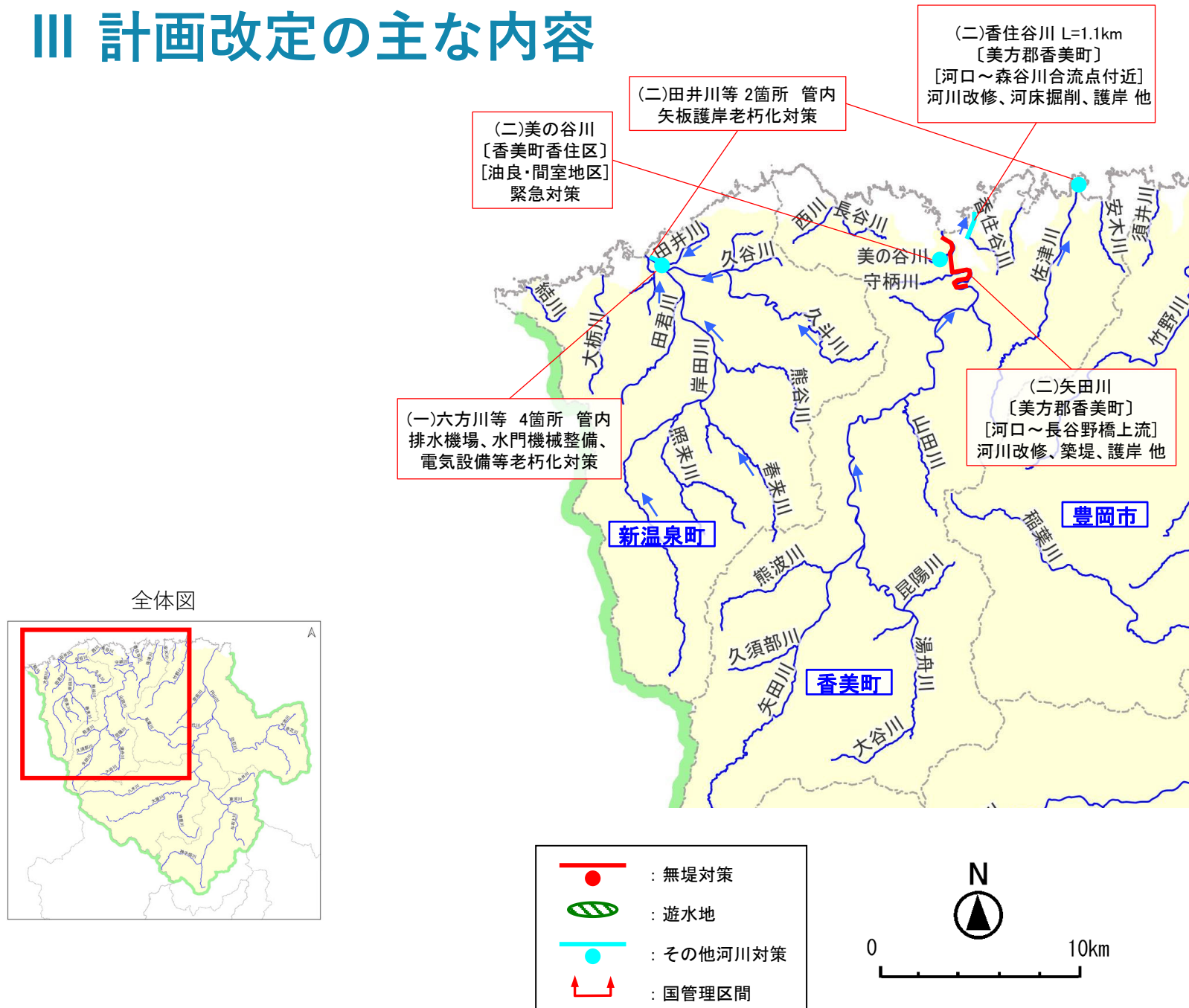
Ⅲ 計画改定の主な内容



全体図



Ⅲ 計画改定の主な内容



Ⅲ 計画改定の主な内容

美の谷川(香美町香住区油良・間室地区)緊急対策

令和5年(2023年)8月の台風第7号により多くの家屋浸水被害が生じた香美町香住区油良・間室地区では、「矢田川・美の谷川治水対策検討委員会」を設置し、今後の治水対策を令和6年3月15日に取りまとめた。今後、緊急対策として、美の谷川では、令和8年度の完了をめざし治水対策を進める。

また、大型土のうの設置や排水樋門の操作基準の明確化等を行い、香美町や地元と連携・協力しながら治水対策完了までの防災対策に取り組む。

出水期(6月1日～10月31日)に向けた対応

①大型土のう設置(赤線)

(約300m)

※点線部分については、周辺に仮置きし、浸水の可能性が高まった段階で設置

(町道は通行止め措置)

②フラップゲート設置(青丸)

(2箇所)

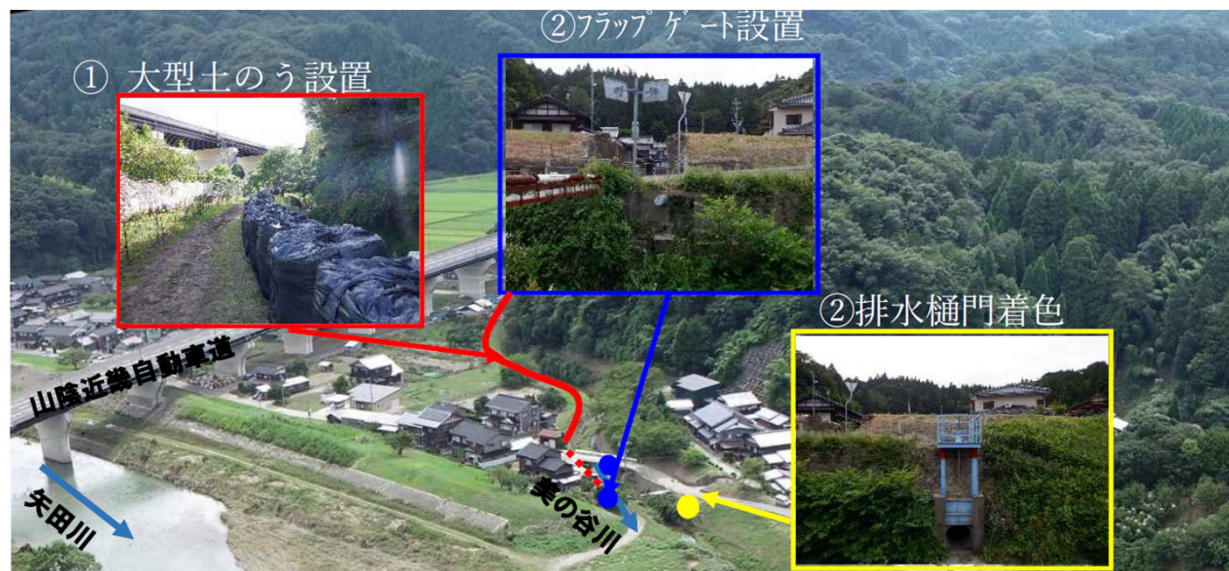
※排水管からの逆流を防止

③排水樋門の操作基準の明確化

(黄丸)

※支柱を着色して操作基準高を明示

④水防資機材等の提供(香美町)



Ⅲ 計画改定の主な内容

【流域対策①】

5. 流域対策（本編P15～19）

（1）調整池の設置及び保全

- 総合治水条例に基づき、重要調整池の設置、適切な管理
- 地域の実情に応じた雨水調整施設の設置指導（香美町）

（2）土地等の雨水貯留浸透機能

- 県市町管理道路における歩道の透水性舗装
- 各戸貯留（雨水貯留タンク設置費助成）
- 田んぼダム（セキ板配布・設置啓発）



重要調整池（左：豊岡市立石、右：新温泉町戸田）



歩道の透水性舗装（朝来市）

表 各戸貯留に関する取組

主体	取組内容	新規・継続
養父市	雨水貯留タンク設置費助成について、申請があった場合に実施	継続
香美町	雨水貯留タンク設置費助成について、申請があった場合に実施。助成額（上限）：浄化槽の転用10万円、雨水貯留タンク及び浸透マス設置5万円	継続

Ⅲ 計画改定の主な内容

【流域対策②】

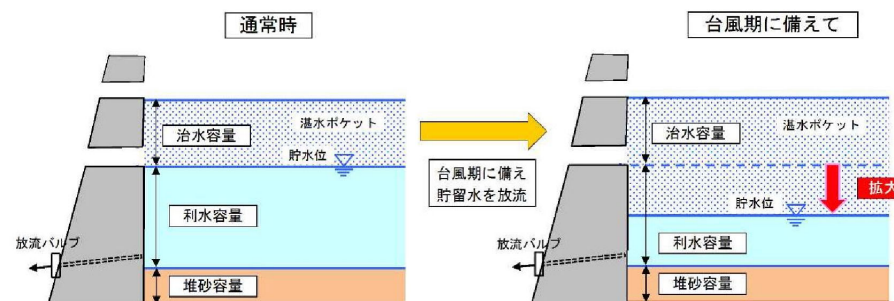
5. 流域対策（本編P20～22）

（3）貯水施設の雨水貯留容量の確保

○ダムの事前放流（大路ダム、但東ダム、与布土ダム、多々良木ダム、大町大池、入江ダム）

表 既存ダムの治水活用量一覧

ダム	所在地	種類	管理者	治水活用量 (千m³)	内容
但東ダム	豊岡市	多目的	県	220	事前放流
大路ダム	朝来市			87	
与布土ダム				358	
大町大池		朝来市	50	期間放流(8～10月)	
多々良木ダム	香美町	利水	関西電力 (株)	11,500	事前放流
入江ダム				170	事前放流 (R2.9既取組容量20千m³を含む)



ダムの事前放流のイメージ



但東ダム



大路ダム



大町大池



与布土ダム

Ⅲ 計画改定の主な内容

【流域対策③】

5. 流域対策（本編P 23～24）

（3）貯水施設の雨水貯留容量の確保

○ため池事前放流設備の整備

新規 ○事前放流における水利施設管理強化事業

表 ため池事前放流設備の整備予定

No	ため池名	所在地	主体
①	ふたた池	朝来市	県（朝来土地改良）
②	峠下池	養父市	
③	すりばち池	新温泉町	県（豊岡土地改良）

新規

表 ため池の治水活用（水利施設管理強化事業）

主体	取組内容
豊岡市	西谷池（日高町上郷） 29千m ³ 新規 滝谷池（日高町上郷） 4千m ³ 新規 小谷池（日高町夏栗） 4千m ³ 新規 観音寺池（出石町福見） 103千m ³ 新規
朝来市	比治下池（和田山町比治） 12千m ² 新規 茶間池（和田山町宮） 3千m ² 新規

Ⅲ 計画改定の主な内容 【流域対策④】

5. 流域対策（本編P 25～28）

（4）ポンプ施設との調整

○河川増水時のポンプ運転調整

（5）遊水機能の維持

（6）森林の整備及び保全

○森林の有する浸透、滞留機能、土地の保全機能を確保するための森林の整備及び保全
（災害に強い森づくり第4期（災害緩衝林の造成等）、条件不利地における間伐の推進、
森林環境贈与税等を活用した森林の整備・保全）

III 計画改定の主な内容

【減災対策①】

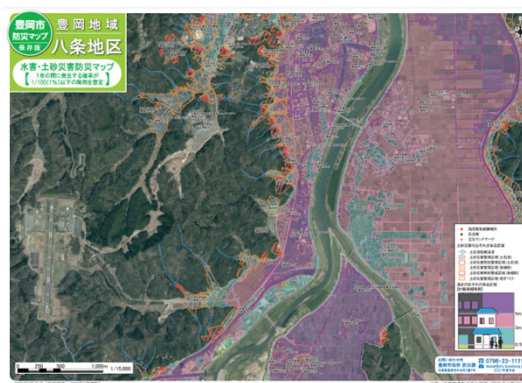
6. 減災対策（本編P29）

（1）浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握

○ハザードマップの更新・周知・啓発等、内水浸水解析の実施 **新規**



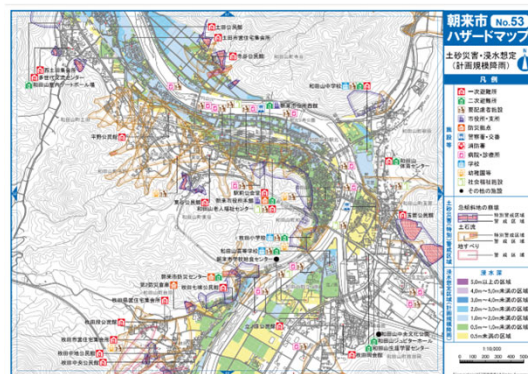
兵庫県CGハザードマップ



豊岡市防災マップ



養父市防災マップ



朝来市ハザードマップ



香美町ハザードマップ



新温泉町総合防災マップ

III 計画改定の主な内容

【減災対策②】

6. 減災対策（本編P30～31）

（2）浸水による被害の発生に係る情報の伝達

- 河川・ダム等のリアルタイム観測情報、ライブカメラ画像の提供
- 防災行政無線や屋外拡声子局の維持管理



川の防災情報

The screenshot shows the 'ひょうご防災ネット' (Hyogo Disaster Net) smartphone app interface. The app is designed for emergency information and disaster preparedness. It includes sections for '避難に関する情報や各種気象情報などをプッシュ通知！' (Push notifications for evacuation information and various weather information!), 'いざという時に備え「マイ避難カード」を作成' (Prepare for emergencies by creating a 'My Evacuation Card'), and '避難場所を地図で検索' (Search for evacuation locations on a map). The app also features a '大雨危険度情報' (Heavy Rain Danger Level Information) section and a '音声読み上げ' (Text-to-speech) function.

ひょうご防災ネット



防災行政無線の設置（新温泉町）

Ⅲ 計画改定の主な内容 【減災対策②】

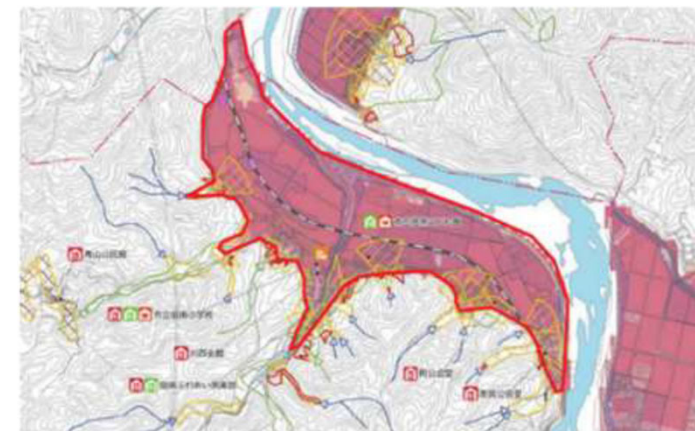
6. 減災対策（本編P 30～31）

（2）浸水による被害の発生に係る情報の伝達

○ワンコイン浸水センサーの設置・監視 **新規**



ワンコイン浸水センサーの設置（豊岡市）



ワンコイン浸水センサーの設置箇所（養父市）



ワンコイン浸水センサーの設置（朝来市）

Ⅲ 計画改定の主な内容

【減災対策③】

6. 減災対策（本編P 3 2～3 4）

（3）浸水による被害の軽減に関する学習

○出前講座・研修等の実施、但馬地域ひょうご防災リーダー講座



出前講座実施の様子（新温泉町）



高校での出前講座（豊岡市）

（4）浸水による被害の軽減のための体制の整備

○避難行動要援護者に対する公費によるボランティア保険加入促進（豊岡市）

○地域防災拠点の整備による水防体制の強化（香美町）**新規**

○マイ避難カードの普及推進（豊岡市）**新規**

Ⅲ 計画改定の主な内容

【減災対策④】

6. 減災対策（本編P 35～37）

（5）訓練の実施

- 合同防災訓練
- 自主防災組織への啓発
- 市民総参加訓練の実施
- 台風23号メモリアル水防訓練の実施



台風23号メモリアル水防訓練の実施
（国、県、豊岡市）

（6）建物等の耐水機能

- 下水道施設の耐水化（新温泉町）**新規**

（7）浸水による被害からの早期の生活の再建

- フェニックス共済の県民への周知・加入の促進
- 応援協定等の締結



総合防災訓練の実施
（香美町、自主防災組織）

Ⅲ 計画改定の主な内容

【環境の保全と創造への配慮】 【総合治水を推進するにあたって必要な事項】

7. 環境の保全と創造への配慮（本編P38）

- 現計画を踏襲し、ひょうご・人と自然の川づくりの基本理念・基本方針を基に計画地域の自然環境の特性に応じて環境の保全と創造に配慮する

8. 総合治水を推進するにあたって必要な事項（本編P39）

- 土砂災害、高潮、津波対策等との連携
- 推進計画のフォローアップと見直し
- 総合治水の普及啓発
- 国が進める流域対策との連携

気候変動への対応として、国が主導する「流域治水プロジェクト2.0」が推進されている。また、流域治水の実践に向けて「特定都市河川浸水被害対策法(令和3年改正)」に基づく特定都市河川の指定と流域水害対策計画の策定について円山川流域治水協議会で検討が進められており、特定都市河川の指定、流域水害対策計画が策定された場合は本計画の見直しを行う。

IV 他地域での総合治水対策の効果事例

■ 今後の取組の参考とするため、他地域での総合治水対策の取組の効果等を追加
※ 資料編に掲載（資料編P 92～103）

淡路島における「ため池」治水活用

淡路（三原川等）地域総合治水推進協議会

ため池の治水活用により、平成28年台風第16号では、洲本川の水位を11cm低下！

概要

- 日本一「ため池」が密集している淡路島（約2万3千カ所）では、過去の災害時には多くの「ため池」が決壊し、下流で大きな被害も発生
- 淡路県民局では、ため池の「雨水の一時貯留機能（洪水調整機能）」を最大限発揮させる取組をH27年度から本格的に展開

取組の概要

■ 事前放流施設の整備

管理者が取り組みやすい構造（一度、開けるだけで操作不要）とするため

- ① ため池改修事業と併せた整備
- ② 治水効果の高いため池での単独整備
- ③ 災害復旧と併せた整備を推進

■ 事前放流の普及啓発

- ① 管理者への事前放流の呼びかけ
台風前に関係市のCATV、防災無線、電話等により、管理者へ事前放流の周知・依頼
- ② 「淡路ため池管理者防災ネット」によるメール配信
登録した管理者の携帯へ、台風前の事前放流依頼、通過後の施設点検、その他管理情報等をメールで配信
【登録方法】 QRコードを読み取る→又はa19@postoffice.ne.jpにEメールを送信すれば返信が有り登録可
[H28年度登録数:250人（特定ため池管理者の約1/4）]
- ③ 管理者講習会の開催
管理者の適正管理に向けた講習会において、事前放流の意義や効果を啓発
分かりやすい模型による説明
- ④ かいぼりの復活
かいぼり（池干し）を復活し、9月以降の湛水を拡大するとともに貯水量の増加、施設点検、豊かな環境づくり等を促進

事業効果

■ 台風時の河川水位の低減

平成28年9月の台風16号では、最大1時間雨量95mm（洲本観測所歴代2位）を記録するなど豪雨が発生した。
洲本川では、ため池の事前放流等により、特定ため池165箇所の貯留により、桑間地点で11cm水位を低減したと推測される。

■ 農地災害等の低減

過去に大災害をもたらした規模の降雨はあるが、事前放流開始の平成25年度から、農地・農業用施設災害は年々、減少傾向にある。

中播磨地域における田んぼダムによる流出抑制

中播磨（市川流域）地域総合治水推進協議会

田んぼダム(3,000㎡)により約190m³の雨水の流出を抑制！

概要

田んぼダム用堰板の効果把握するために、模型を用いた実験を実施し、流出抑制効果を試算

既存の堰板の上に、「田んぼダム用堰板」を設置することで、普通の雨は切欠きから排水され、激しい雨の時には、水位が上昇し、堰板から越流して排水されます。

事業効果

【平成23年台風第12号における流出抑制効果の試算結果】

- 田んぼダムを整備することで、標準区画である3000㎡の田んぼにおいて、約190m³の降雨を田んぼに一時的に貯留し（25mプールの約1/2の水）、ピーク時における降雨流出を約0.007m³/s低下させます。

田んぼダムの取組が普及することで、地先水路の水位低下等により浸水被害軽減の効果が期待できる。

参考（模型実験）

- 田んぼダム用堰板を設置した場合と設置しない場合において、排水実験を実施。
- 一筆排水樹からの排水量を実験結果より算定し、田んぼ内の水深と排水量の関係を整理。

河川下水道対策

ながす整備等を行うことにより、大規模洪水時に水を安全に流下し、浸水被害を軽減

河川下水道対策	箇所・取組	完了	継続	新規
河川整備計画に基づく取組	(一)円山川改修(出石川、奈佐川を含む)		●	
	(一)円山川[日高・八鹿工区]	●		
	(一)円山川[宿南地区]	●		
	(一)円山川養父市～朝来市[米地橋上流～神子畑川合流点]		●	
	(一)八木川[養父市八鹿町国木～米里 他]	●		
	(二)味原川他[新温泉町浜坂]	●		
	(二)味原川[美方郡新温泉町]		●	
	(二)岸田川[美方郡新温泉町][段川・三谷山川 合流点]		●	
	(二)香住谷川[美方郡香美町] [河口～森谷川合流点付近]		●	
	(二)矢田川[美方郡香美町香住区] [河口～長谷野橋上流]		●	
	(一)稲葉川[豊岡市日高町]	●		
	(二)美の谷川[香美町香住区油良・間室地区]			●
中上流対策に基づく取組など	(一)六方川[豊岡市六地藏 他]	●		
	(一)六方川[六方川排水機場]	●		
	(一)六方川等4箇所[管内]			●
	(一)菅川[豊岡市出石町]	●		
	(一)知見川[豊岡市日高町]	●		
	(二)田井川[新温泉町田井]	●		
	(一)稲葉川[豊岡市日高町十戸]	●		
	(一)穴見川[豊岡市香住]	●		
	(一)六方川[豊岡市駄坂～下鉢山]	●		
	(一)出石川[豊岡市但東町栗尾]	●		
	(一)太田川[豊岡市但東町日向]	●		
	(一)穴見川[豊岡市三宅]	●		
	(一)大屋川[養父市伊豆]	●		
	(一)大屋川[養父市大屋町筏]	●		
	(一)大屋川[養父市浅野]	●		
	(一)東河川[朝来市和田山町久田和]	●		
	(一)田路川[朝来市田路]	●		
	(一)赤花川[豊岡市但東町奥赤]		●	
	(二)岸田川[美方郡新温泉町七釜]	●		
	(二)栃原川[朝来市生野町栃原]	●		
	(二)湯舟川[美方郡香美町村岡区鹿田]	●		
	(二)湯舟川[美方郡香美町村岡区鹿田]	●		
	(二)矢田川[美方郡香美町小代区石寺]	●		
	(二)小原川[美方郡香美町香住区小原]	●		
	(一)奈佐川[豊岡市吉井]	●		
	(一)大浜川[豊岡市森津]	●		
	(一)稲葉川[豊岡市日高町浅倉]	●		
	(一)円山川[養父市八鹿町下小田]	●		
	(一)円山川[朝来市和田山町駅北]	●		
	(一)八代川[朝来市八代]			●
	(一)八木川[養父市尾崎]			●
	(二)田井川等2箇所[管内]			●
	与布土ダム[朝来市山東町]	●		
	大路ダム[朝来市和田山町]			
	与布土ダム[朝来市山東町]			●
	但東ダム[豊岡市但東町]			
下水道対策	公共下水道・特定環境下水道		●	
新規	特定都市河川指定 流域水害対策計画策定			●

新規取組区分 気候変動を踏まえた治水対策
最新の社会情勢を踏まえた更新
DXを活用した対策

流域対策

ためる整備を行うことにより、住宅・道路の浸水被害、内水浸水を軽減、河川水位低下

流域対策	箇所・取組	概要	完了	継続	新規
1 調整池の設置及び保全	重要調整池の設置指導			●	
	指定調整池の指定			●	
	調整池の設置指導			●	
2 土地等の雨水貯留浸透機能	県立学校・町立学校	校庭貯留	●		
	市立学校	校庭芝生化	●		
	中学校駐車場整備	透水性舗装、芝生パーキング	●		
	豊岡総合庁舎	駐車場 地下貯留・透水性舗装	●		
	新温泉庁舎	雨水貯留タンク設置	●		
	庁舎・役場	駐車場透水性舗装、地下貯留槽	●		
	公共施設の雨水貯留浸透機能		●		
	保水性ブロック、緑化ブロック等			●	
	県管理道路・市管理道路における歩道の透水性舗装			●	
	県営住宅	駐車場貯留	●		
	田んぼダム	セキ板配布・設置啓発		●	
	各戸貯留	設置費助成等		●	
3 貯水施設の雨水貯留容量の確保	指定雨水貯留浸透施設の指定			●	
	貯水施設の雨水貯留容量の確保			●	
	指定貯水施設の指定			●	
	ため池(改修)	ため池改修に合せた事前放流設備の整備		●	
	ため池(事前放流等)	水利施設管理強化事業		●	●
4 ポンプ施設との調整	河川増水時のポンプ運転調整			●	
	操作規則への明示、運用の検討		●		
	指定ポンプ施設の指定			●	
5 遊水機能の維持	遊水機能の維持			●	
6 森林の整備及び保全	災害に強い森づくり			●	
		災害緩衝林の造成 等 森林環境贈与税等を森林の整備・保全			●

新規取組区分 気候変動を踏まえた治水対策
最新の社会情勢を踏まえた更新
DXを活用した対策

減災対策

危険を知り、素早く行動し、施設を整備することにより、防災力を向上

減災対策	箇所・取組	概要	完了	継続	新規
1 浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握	水防法の改正に伴う洪水浸水想定区域図の作成		●		
	水防法改正に伴う洪水浸水想定区域の指定		●		
	兵庫県CGハザードマップによる情報提供			●	
	ハザードマップの作成・更新・配布・普及・啓発			●	
	内水ハザードマップの作成・周知				●
	水害リスクマップの公表				●
	避難行動指針の作成		●		
	まるとまちごとハザードマップ		●		
	災害を伝える取組			●	
	簡易雨量計の配布		●		
	避難判断水位・氾濫危険水位等の見直し		●		
2 浸水による被害の発生に係る情報の伝達	マイ避難カードの普及推進				●
	雨量・水位情報の発信			●	
	雨量計の設置		●		
	河川監視カメラ情報の発信			●	
	県民に対する防災情報の発信	冠水情報表示板の設置 等	●		
		防災行政無線、ケーブルテレビ 等		●	
	市町に対する情報提供	フェニックス防災システムによる河川水位予測・氾濫予測を市長等に提供		●	
	屋外拡声子局の設置・維持管理		●	●	
3 浸水による被害の軽減に関する学習	ワンコイン浸水センサーの設置・監視				●
	防災に関する人材の育成	自主防災組織交流大会の開催	●		
		出前講座、防災学習会、講演会 等の実施		●	
		コミュニティFM局と連携した情報発信	●		
		但馬地域ひょうご防災リーダー講座（フォローアップ研修を含む）		●	
		防災サバイバル講座	●		
4 浸水による被害の軽減するための体制の整備	防災マップの作成支援	住民自らが作成する防災マップの作成支援		●	
	避難施設等への案内板等の整備			●	
	津波避難ビルの震度感知式鍵ボックスの設置			●	
	避難行動要援護者の避難支援者に対する公費によるボランティア保険加入促進			●	
	防災組織の結成推進・活性化		●		
	雨水管理総合計画の策定				●
5 訓練の実施	水防体制の強化				●
	自主防災組織への啓発			●	
	訓練の実施	市民総参加訓練、総合防災訓練、一斉避難訓練		●	
	台風23号メモリアル水防訓練の実施			●	
	自主防災組織における訓練の実施			●	
6 建物等の耐水化	建物等の耐水化	市役所、病院、中学校	●		
		下水道施設			●
7 浸水による被害からの早期生活再建	指定耐水施設の指定			●	
	共済制度の加入促進	フェニックス共済		●	
	応援体制の確立	市町と民間事業者等との間での災害時応援協定等の締結		●	

新規取組区分 気候変動を踏まえた治水対策
最新の社会情勢を踏まえた更新
DXを活用した対策